

# 平成30年度決算報告

※詳細は第21回通常総代会資料をご参照ください。



## ◎販売・保管事業

基幹作物の稲作は、天候不順等の影響で作況指数「96」、集荷数量は20万6千俵、取扱高は計画対比86%と計画及び前年実績を大きく下回る結果となりましたが、青果物においては「白神ねぎ」が15億円販売を突破するなど、青果物全体で19億8千万円となり、計画にはわずかに及ばないものの過去最高の販売高を記録しました。



## ◎購買事業

TACの積極的な渉外活動により、事業全体で供給高30億8千万円、計画対比103%となりました。



## ◎利用事業

カンントリーエレベーター事業は燃料光熱費の増加等により計画対比92.2%の実績。野菜育苗事業は、作付け面積拡大等により計画対比108.5%。事業全体では事業総利益5,830万円、計画対比94.2%となりました。

## ◎信用・共済事業

組合員・地域住民に安全・安心を届け、愛されるJAバンクの実現と、豊かで安心して暮らすことのできる地域づくりのため、信頼と期待に応えるための総合保障の提供とLAによる訪問活動を引き続き展開します。

## ◎福祉介護事業

地域に密着したJAらしく事業を展開してきた結果、事業総利益1億9千万円、計画対比108.6%の実績となりました。

### 平成30年度主な事業総利益（前年度対比）

